

地理歴史(日本史) (2025)

- (注意事項)
- 1 問題文は11ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答は一部記述を含むマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次の文章を読み、設問に答えなさい。

歴史上、世界のいたるところで戦争がおこなわれてきた。日本列島でも古くから多くの戦乱が生じている。すでに弥生時代にも日本列島内で大きな戦乱がおきていたということは、考古学の成果から知られるところであり、また次の文献からそれを知ることができる。

中国の歴史書『魏志』倭人伝によると、「倭国乱れ、相攻伐して年を歴たり。乃ち共に一女子を立てて王と為す」とある。2世紀の後半に戦乱が続いていたため、諸国は共同して女王卑弥呼を立て、邪馬台国を中心とする連合体をつくったことがうかがわれる。邪馬台国は、南にあった 国と対立しつつも魏と交流するなどしたが、卑弥呼の死後、「更に男王を立てても、国中服せず。更々相誅殺し、当時千余人を殺す」とあって、再び戦乱がおこったようである。

このあと古墳時代になると、信頼すべき文献資料が少ないことから、日本列島内で大きな戦乱があったかどうかは定かではない。6世紀前半には、蘇我稲目と 尾輿が権力を握り、両者は勢力を争った。彼らは仏教導入にかんしても意見を対立させたが、結局、蘇我稲目の子が、 尾輿の子を滅ぼし、蘇我氏の権力は強大なものとなっていった。

しかし7世紀半ばになると蘇我本宗家は、天皇を中心とする中央集権国家をめざす中大兄皇子らに滅ぼされることとなる。中大兄皇子を中心とした朝廷は、大化改新とよばれる政治改革を進めていった。中大兄皇子は即位して天智天皇となったが、^①それに先立って、政敵を滅ぼし、また、百済復興を支援するために朝鮮半島へ軍隊を派遣している。

8世紀になると、大宝律令が施行され、それによって中央集権的な政治体制がととのってくるものの、^②政変や反乱は頻繁におこった。たとえば740年には、大宰府に赴任していた が反乱をおこしている。また、東北地方に目を向けると、8世紀後期には蝦夷の抵抗がはげしくなり、780年に伊治砦麻呂の反乱がおき、その後平安時代前期まで朝廷と蝦夷と^③は断続的に戦争をしていった。

平安時代末期に入って武士が台頭すると、日本列島の各地で戦乱がはげしくなってきた。12世紀半ばを過ぎると、平安京周辺で天皇家や摂関家の権力争いに源氏・平氏の武士が加わり、保元の乱や平治の乱がおこった。これを契機に平氏が朝廷で勢力をのぼすものの、平氏の専制的な政治にたいして不満がうずまきはじめた。この情勢を察した後白河法皇の皇子以仁王は、全国に平氏打倒のよびかけを發し、それに呼応して源頼朝、源義仲らが挙兵した。そのあと、1185年に壇の浦の戦いにおいて平氏が敗北したことで、源氏側の勝利が決定した。

源頼朝によって鎌倉に幕府が開かれるが、頼朝が没してその子である源頼家が跡を継ぐと、その強引な政治手法が有力御家人の反発を招くこととなった。そのため、頼家は引退させられてその弟であった源実朝が3代将軍に就任するが、ほどなく頼家の子、公暁に殺された。実朝の死により源氏将軍が断絶してしまったため、藤原（九条）頼経が鎌倉に下向して将軍となっ

た。その後藤原氏だけではなく、皇族も将軍として下向した。後嵯峨上皇の皇子である も、6代将軍になっている。しかしこれら将軍に政治の主導権はなく、執権に就任した北条氏が御家人を統率することとなった。

その後の^⑤南北朝時代・室町時代にも、多くの政争や戦乱が列島各地で頻発した。一時的に安定する時代もあったが、応仁の乱後ほどなくして、世は戦国時代に突入する。^⑥戦国の世から安土桃山時代になると、天下統一をはたした豊臣秀吉は、朝鮮出兵をおこなうものの、その出兵は総じて失敗におわった。秀吉の後継者は であったが、秀吉政権のもとで五大老であった徳川家康が地位を高め、関ヶ原の戦いをへて、1603年に征夷大将軍の宣下を朝廷からうけた。^⑦江戸時代の幕開けである。一方で は、1614年から1615年にかけて、居城である大坂城を幕府軍に攻められ、実母とともに死を遂げた。

大坂城攻め後の江戸幕府は、大名の居城を1つに限るという や、武家諸法度を制定するなどして、大名の統制を厳しくした。そのため、改易などの処罰をうける大名も少なくなかった。3代将軍徳川家光は、上洛するに際して30万余りの軍勢をひきいたが、これは統一した軍役を全大名に賦課し、軍事指揮権の掌握を示したものといえる。

4代将軍徳川家綱の時期になると、幕府機構は整備され、社会秩序が安定していった。その一方で政治課題となったのは、戦乱を待望する牢人や、秩序におさまらない者たちへの対応であった。こうしたなか、1651年に兵学者 が幕府への謀反計画を立てるなどの事件が生じた。これをうけて幕府は、牢人の増加を防ぐなどの対策をとった。この事件のあとしばらく、大きな戦乱はさほど生じず、^⑧幕末の騒乱を迎えることとなった。

〔設 問〕

- (1) 空欄 a～g にあてはまる語を解答用紙 B 面の所定欄に記入しなさい。
- (2) 下線部①～⑧にかんして、下記の問にたいする答を1つずつ選び、解答用紙 A 面の所定欄にマークしなさい。
 - ① 大化改新にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
 - (ア) 皇極天皇が譲位し、孝徳天皇が即位した。
 - (イ) 国・郡・郷に、国司・郡司・郷司がおかれた。
 - (ウ) 現在の大阪府に、難波宮（難波長柄豊碕宮）が営まれた。
 - (エ) 蘇我石川麻呂（蘇我倉山田石川麻呂）が右大臣に任命された。
 - (オ) 『日本書紀』によれば、豪族がもつ田荘・部曲廃止の方針が示された。

- ② 律令によって定められたもののうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 京には左京職・右京職，摂津には摂津職がおかれた。
 - (イ) 原則として官吏は，位階に相当する官職に任命された。
 - (ウ) 官吏・官人を監察する機関として，弾正台が設置された。
 - (エ) 兵役のなかには，都の警備にあたる防人と，九州に送られる衛士があった。
 - (オ) 各官庁には，長官（かみ）・次官（すけ）・判官（じょう）・主典（さかん）がおかれることが多かった。
- ③ 平安時代にかんする次の記述のうち，適切でないものはどれか。
- (ア) 安和の変では，左大臣源高明が失脚した。
 - (イ) 藤原氏ではじめて摂政に任命されたのは，藤原良房である。
 - (ウ) 平城太上天皇の変（薬子の变）において，藤原仲成が殺された。
 - (エ) 9世紀に顕教の世界を図像で描く曼荼羅が多くつくられるようになった。
 - (オ) 最初に関白に任命されたのは，光孝天皇の関白をつとめた藤原基経である。
- ④ 鎌倉に幕府がおかれていた時代におきた戦乱として，適切でないものはどれか。
- (ア) 霜月騒動
 - (イ) 承久の乱
 - (ウ) 文永の役
 - (エ) 中先代の乱
 - (オ) 比企能員の乱
- ⑤ 南北朝時代・室町時代における人物と，その人物が関与した戦乱との組み合わせとして適切でないものはどれか。
- (ア) 高師直 — 観応の擾乱
 - (イ) 足利持氏 — 永享の乱
 - (ウ) 足利義詮 — 嘉吉の変
 - (エ) 大内義弘 — 応永の乱
 - (オ) 山名氏清 — 明德の乱
- ⑥ 戦国時代および安土桃山時代にかんする次の記述のうち，適切でないものはどれか。
- (ア) 分国法（家法）のなかには，喧嘩両成敗を定めたものもある。
 - (イ) 戦国大名は鉱山の開発に力をそそぎ，金銀の生産力が高まった。
 - (ウ) 『平家物語』や『日葡辞書』など，活字版の図書が出版された。
 - (エ) 北条早雲は堀越公方を滅ぼして相模に進出し，小田原を本拠地とした。
 - (オ) 関白に任じられた豊臣秀吉は，京都に聚楽第を新築して後桜町天皇を接待した。

- ⑦ 江戸時代にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 江戸時代の天皇家の領地を禁裏御料とよんだ。
 - (イ) 長崎・日光・佐渡などにいわゆる遠国奉行が設置された。
 - (ウ) 幕府と朝廷をつなぐ窓口として、公家のなかから武家伝奏がえらばれた。
 - (エ) 家持の町人だけではなく、土地や家屋を借りている人々も、町の運営に参加できた。
 - (オ) 城下町は、将軍や大名の屋敷が含まれる城郭を核として、居住する地域が身分ごとに区分されていた。
- ⑧ 幕末において、財政面・軍事面の援助をするなど、幕府支援の立場をとった駐日フランス公使は誰か。
- (ア) グラバー
 - (イ) パークス
 - (ウ) ロッシュ
 - (エ) オールコック
 - (オ) ヒュースケン

II 次のAとBの文章を読み、文中の空欄(a)(b)～(m)(n)にはいる、もっとも適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙A面の所定欄にマークしなさい。なお、選択肢はすべて2ケタの数字であり、空欄内の左側のアルファベットは10の位を、また右側のアルファベットは1の位をあらわすこととする。

A 律令制度に基づく政治体制が整備されていくとともに、統治にかかわる者たちの国家意識も高まっていった。天武天皇の時代には天皇の統治の由来を示す歴史書の編纂作業がはじまり、奈良時代になって712年には『古事記』が、720年には『日本書紀』が完成した。『日本書紀』は中国の史書にならって漢文で書かれており、その後、10世紀はじめに完成した『(a)(b)』にいたるまで、合わせて6つの漢文による正史が編纂された。これらを六国史とよぶ。

平安時代には平将門の乱を描いた『将門記』や前九年合戦を描いた『(c)(d)』などの軍記物語が書かれるとともに、藤原道長の一生を中心に描いた『栄華物語(栄花物語)』や、藤原氏の栄華を客観的な視点でながめた『大鏡』などの歴史物語がうみだされた。これらの歴史物語は六国史などの正史と異なり、仮名をもちいた和文体で記された。

鎌倉時代、天台座主の慈円は著書『愚管抄』のなかで神武天皇から承久の乱直前までの歴史を貫く原理を探って、「道理」という概念を通じた歴史の解釈を試みた。また、1180年の以仁王の令旨・源頼政の挙兵から1266年の6代将軍の帰京までの幕府の事跡を編年体で記した『(e)(f)』や、虎関師錬が日本の仏教史を漢文体であらわした『元亨釈書』なども、鎌倉時代にうみだされた歴史書である。

南北朝時代には、長びく戦乱や急速な世の移り変わりを背景に、さまざまな軍記物語や歴史書がうみだされた。代表的な軍記物語は南北朝の動乱を描いた『太平記』である。これにたいし今川貞世(今川了俊)は『難太平記』をあらわし、足利尊氏の行動にかんする『太平記』の記述の誤りをただしている。それ以外にも、源平の争乱から建武の新政直前までの歴史を公家の立場から描いた『(g)(h)』や、南朝の正統性を訴える北畠親房の『神皇正統記』、足利尊氏の活躍と幕府創立を武家の立場から描いた『(i)(j)』などがある。

江戸時代にさかんになった儒学は歴史学にも影響をあたえ、史料に基づく実証的な研究をうながした。林羅山・鶯峰らが幕命により編纂した編年体の歴史書『(k)(l)』はその成果である。明から亡命してきた儒学者、朱舜水の教えをうけた水戸藩主徳川光圀は、江戸藩邸内に設けた彰考館に多数の学者を集めて『大日本史』の編纂に着手した。光圀の死後も継続されたこの事業が終了したのは明治時代になってのことである。また木下順庵に朱子学を学び、6代将軍徳川家宣の侍講をつとめた新井白石は著書『(m)(n)』において歴史を段階的に時代区分し、政権の移り変わりを独自の視点からとらえ、説明した。

B 近現代日本の経済は、貿易の拡大とともに発展したといえることができる。いわゆる安政の五カ国条約に基づいた貿易は1859年から横浜・長崎・箱館の3港ではじまった。貿易は開始当初、大幅な輸出超過であったが、1866年の (a)(b) で関税率が諸外国に有利な一律5%の従量税に改められ、その翌年の1867年以降、貿易は輸入超過に転じた。

関税面での不平等は、1911年に (c)(d) 外相による条約改正で関税自主権を完全に回復するまで残ることになるが、その間、国内の市場には安価な外国製の綿織物や砂糖などが大量に流入したため、国内の綿花栽培や製糖業は大きな打撃をうけて衰退した。

その一方で、海外貿易に積極的に対応しようとする動きも見られた。関東地方や山梨県・長野県などの各地では、生糸をつくる製糸業が輸出産業として急速に成長した。また、綿織物業においても、 (e)(f) らが開発した小型の国産力織機が農村部の中小工場に広く導入されるなど技術革新が進展し、1909年には、綿布の輸出高が輸入高を上回るようになった。しかし、この時期には、原料綿花や重工業資材などの輸入も増加したため、貿易収支は毎年のように大幅な赤字となった。

1914年に勃発した第一次世界大戦は、このような状況を一変させた。(g)(h) などの連合国には軍需品を、ヨーロッパ列強が後退したアジア市場には綿織物などを輸出することで、貿易は大幅な輸出超過となった。しかし、第一次世界大戦が終結すると、ヨーロッパ諸国の復興が進み、その商品がアジア市場に戻ってくると、再び貿易は輸入超過に転じた。さらに1929年に発生した世界恐慌によって輸出は大幅に減少し、日本経済は深刻な恐慌に陥ることになった。

こうした事態を打開するために、1931年に (i)(j) 蔵相は金輸出再禁止をおこない、低為替政策を進めた。その結果、円相場は下落し、綿織物などの輸出が大幅に伸張した。しかし、二・二六事件後、軍事支出が急速に膨張したことで軍需物資の輸入が急増し、国際収支は悪化していった。さらに、アジア・太平洋戦争で日本が劣勢となり制海権を失うと、貿易規模は極度に縮小することになった。

第二次世界大戦終結後、日本経済はアメリカ主導の自由貿易体制のもとで発展していくことになる。1949年に、アメリカから派遣されたドッジのもとで1ドル = (k)(l) 円という単一為替レートが定められ、1952年には国際通貨体制を支える機関である (m)(n) に加盟するなど、国際経済との結びつきが強められた。さらに、1960年には「貿易為替自由化計画大綱」が決定され、1964年には国際収支上の理由で為替管理をおこなうことができない (m)(n) 8 条国に移行するなど、経済の自由化が推進された。これ以降、大幅な貿易黒字が長らく続き、日本は「経済大国」の道を歩んでいったのである。

〔語 群〕

- | | | |
|----------|-----------|-------------|
| 01 吾妻鏡 | 02 犬養毅 | 03 井上準之助 |
| 04 今鏡 | 05 オーストリア | 06 オランダ |
| 07 改税約書 | 08 片岡直温 | 09 禁秘抄 |
| 10 群書類従 | 11 元元集 | 12 源平盛衰記 |
| 13 江華条約 | 14 国意考 | 15 国立銀行条例 |
| 16 小村寿太郎 | 17 品川弥二郎 | 18 渋沢栄一 |
| 19 釈日本紀 | 20 沙石集 | 21 樵談治要 |
| 22 職原抄 | 23 続日本紀 | 24 続日本後紀 |
| 25 塵劫記 | 26 西洋紀聞 | 27 曾我物語 |
| 28 高橋是清 | 29 高峰讓吉 | 30 中朝事実 |
| 31 寺島宗則 | 32 ドイツ | 33 読史余論 |
| 34 豊田佐吉 | 35 長岡半太郎 | 36 長崎新令 |
| 37 日本後紀 | 38 日本三代実録 | 39 日本文徳天皇実録 |
| 40 日本靈異記 | 41 梅松論 | 42 フランス |
| 43 北槎聞略 | 44 本朝通鑑 | 45 増鏡 |
| 46 松方正義 | 47 水鏡 | 48 御堂関白記 |
| 49 陸奥宗光 | 50 陸奥話記 | 51 類聚国史 |
| 52 308 | 53 340 | 54 360 |
| 55 388 | 56 GATT | 57 IBRD |
| 58 IMF | 59 OECD | |

Ⅲ 次のA～Gの文章を読み、設問に答えなさい。

A 天下ヲ治給コト十四年。太子ニユヅリテ尊号アリ。世ノ政ヲハジメテ院中ニテシラセ給。後ニ出家セサセ給テモ猶ソノマヽニテ御一期ハスゴサセマシ〜キ。……主上ヲサナクオハシマス時ハヒトヘニ執柄ノ政ナリキ。宇治ノ大臣ノ世トナリテ…… , 坊ノ御時ヨリアシザマニオボシメスヨシキコエテ, ……踐祚ノ時即関白ヲヤメテ宇治ニコモラレヌ。弟ノ二条ノ教通ノ大臣, 関白セラレシハコトノ外ニ其権モナクオハシキ。マシテ此御代ニハ院ニテ政ヲキカセ給ヘバ, 執柄ハタゞ職ニソナハリタルバカリニナリス。

B の町は甚だ廣大にして大なる商人多数あり。此町はベニス市の如く執政官に依りて治めらる。

日本全国当 の町より安全なる所なく、他の諸国に於て動乱あるも、此町には嘗て無く、敗者も勝者も、此町に来住すれば皆平和に生活し、諸人相和し、他人に害を加ふる者なし。……市街には悉く門ありて番人を付し、紛擾あれば直に之を閉づることも一の理由なるべし。……町は甚だ堅固にして、西方は海を以て、又他の側は深き堀を以て囲まれ、常に水充滿せり。

C 在方より当地え出居候者、故郷え立帰度存じ候得共、路用金調難く候か、立帰候ても夫食、農具代など差支候ものは、町役人差添願出づべく候。吟味の上夫々御手当下さるべく候。若村方に故障の儀之有るか、身寄の者之無く、田畑も所持致さず、故郷の外ニても百姓に成申し度存じ候ものは、前文の御手当下され、手余地等之有る国々え差遣し、相応の田畑下さるべく候。……

(寛政二年) 十一月

D 人々自ラ其身ヲ立テ、其産ヲ治メ、其業ヲ昌ニシテ、以テ其生ヲ遂ル所以ノモノハ他ナシ、身ヲ修メ、智ヲ開キ、才芸ヲ長スルニヨルナリ。而テ其身ヲ脩メ、智ヲ開キ、才芸ヲ長スルハ学ニアラサレハ能ハス。……サレハ学問ハ身ヲ立ルノ財本共云ヘキ者ニシテ、人タルモノ誰カ学ハスシテ可ナランヤ。……自今以後、一般ノ人民士族農工必ス邑ニ不学ノ戸ナク、家ニ不学ノ人ナカラシメン事ヲ期ス。

E 第十四条 妻カ左ニ掲ケタル行為ヲ為スニハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス、……

第七百四十九条 家族ハ ノ意ニ反シテ其居所ヲ定ムルコトヲ得ス

第七百五十条 家族カ婚姻又ハ養子縁組ヲ為スニハ ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第七百七十二条 子カ婚姻ヲ為スニハ其家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス、但男カ満三十年女カ満二十五年ニ達シタル後ハ此限ニ在ラス、……

F 小説の主脳は人情なり。世態風俗これに次ぐ。……此人情の奥を穿ちて、賢人、君子はさらなり。老若男女、善悪正邪の心の中の内幕をば洩す所なく描きいだして周密精到、人情を灼然として見えしむるを、我が小説家の務めとはするなり。よしや人情を写せばとて、其皮相のみを写したるものは、未だ之れを真の小説とはいふべからず。其骨髓を穿つに及び、はじめて小説の小説たるを見るなり。

G 第一条 この法律は、団体の活動として暴力主義的破壊活動を行った団体に対する必要な規制措置を定めるとともに、暴力主義的破壊活動に関する刑罰規定を補整し、もって、公共の安全の確保に寄与することを目的とする。

〔設 問〕

(1) 次の a～g の問にたいする答を解答用紙B面の所定欄に記入しなさい。

- a 文章Aの にはいる人物は藤原氏を母方の祖父とせず、大江匡房らを登用するなどして親政をおこなった。この人物は誰か。
- b 文章Bの文中にある にはいる町名は何か。
- c 文章Cは、農村から江戸へ流入した者にたいして江戸幕府が出した法令の一部である。この法令は何か。
- d 1872年に出され、文章Dがその趣旨説明となっている法令は何か。
- e 文章Eは、1898年に施行された法令の一部である。文中の にはいる言葉は何か。
- f 文章Fの著者は誰か。
- g 文章Gの法律が制定されたときの日本の首相は誰か。

(2) 次の①～⑦の間にたいする答を1つずつ選び、解答用紙B面の所定欄にマークしなさい。

- ① 文章Aに関連し、院政期にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 八条院領は、白河上皇が皇女八条院に伝えた荘園である。
 - (イ) この時期には天皇家によって法勝寺など多くの大寺院が造営された。
 - (ウ) 上皇の意思を伝える院宣が権威をもち、国政にも効力をもつようになった。
 - (エ) 白河上皇によって組織された北面の武士には、源氏や平氏などの武士が登用された。
 - (オ) 多くの荘園を所有して勢力を広げた大寺院は、下級僧侶を僧兵として組織し、朝廷に強訴した。
- ② 文章Bに関連し、戦国時代の都市の出来事にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 京都では町衆たちが祇園祭を復興させた。
 - (イ) 年6回の定期市である六斎市が開かれていた。
 - (ウ) 交通と商品流通の発展にともない、港町・宿場町が繁栄した。
 - (エ) 伊勢神宮の宇治・山田など、寺院・神社の門前市から発達した門前町が繁栄した。
 - (オ) 自由な商業取引を原則とし、販売座席、市場税などを設けない楽市の政策が実施される町も多かった。
- ③ 文章Cに関連し、江戸時代の農村にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 下肥などの自給肥料のほか、干鰯・メ粕・油粕などの金肥が普及した。
 - (イ) 領主は村民を五人組に編成し、年貢納入や犯罪防止のために連帯責任を負わせた。
 - (ウ) 江戸時代中期以降、村役人の不正や特権行使をただそうとする村方騒動が、各地でたびたびおこった。
 - (エ) 用水や入会地の維持管理、結・もやいとよばれる共同作業など、村は農業経営に重要な役割をはたした。
 - (オ) 本百姓の負担には、山野河海の利用などにかけられる本途物成のほか、田畑と屋敷地を基準にかけられる小物成などがあった。

- ④ 文章Dに関連し、明治時代の教育制度にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 女子のための教員養成機関として、女子師範学校が設けられた。
 - (イ) 江戸幕府の機関をもとにした諸校を統合し、東京大学が創設された。
 - (ウ) 新島襄の同志社、大隈重信の東京専門学校などの民間の学校が創設された。
 - (エ) いわゆる学校令が公布され、小学校・中学校・師範学校・帝国大学などからなる学校体系がととのった。
 - (オ) 1903年には検定教科書制度が開始され、小学校の教科書は文部大臣の許可を得たものに限ることが定められた。
- ⑤ 文章Eに関連し、明治時代の法規・法令にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 皇室典範が制定され、皇位の継承などについて定められた。
 - (イ) 新貨条例が定められ、円・銭・厘を単位とする新硬貨がつくられた。
 - (ウ) 鉄道国有法が公布されたことで、主要な民営鉄道17社が買収され、国有鉄道が大半を占めることになった。
 - (エ) 造船奨励法・航海奨励法によって、鉄鋼船の建造、および外国航路への就航に奨励金が出されることになった。
 - (オ) 大日本帝国憲法と同時に衆議院議員選挙法が公布されたが、そのときの選挙人は直接国税10円以上をおさめる満25歳以上の男子に限られていた。
- ⑥ 文章Fに関連し、明治時代の文化にかんする次の記述のうち、適切でないものはどれか。
- (ア) 尾崎紅葉、山田美妙らを中心として硯友社が結成された。
 - (イ) 日露戦争後、小山内薫らが築地小劇場を拠点に新派劇を上演した。
 - (ウ) 政府は西洋美術を殖産興業に必要な技術とみなし、工部美術学校を開設した。
 - (エ) 岡倉天心らの影響のもとに東京美術学校が設立され、日本美術の復興がめざされた。
 - (オ) 伝統的な木彫が近代彫刻として再興され、荻原守衛の作品に代表される西洋流の彫塑とともに発展した。
- ⑦ 文章Gの法律の制定から、もっとも時期が離れた出来事は次のうちどれか。
- (ア) 朝鮮戦争がはじまった。
 - (イ) 警察予備隊が設置された。
 - (ウ) 国旗・国歌法が制定された。
 - (エ) 血のメーデー事件がおきた。
 - (オ) 日本労働組合総評議会（総評）が結成された。